

高齢者等へ 安心した生活への 取り組みについて



大里 昇
議員



現在、ほとんどの自治体において少子化と高齢化への問題や課題が進行してきており、国を挙げて取り組むべき重要な課題となっています。そして、高齢化社会での1人暮らしの方や身寄りのない単身高齢者も増えつつあります。

- ここで、以下伺います。
 - ①本市において安否確認が必要な方への取り組みについて
 - ②配食サービス事業の利用条件、利用者数、自己負担について
 - ③認知症高齢者への取り組みについて。
- 福祉部長
- ①主に高齢者配食サービス事業があります。食の自立支援が必要と認められた高齢者のみの世帯の方に対し、食事を自宅へ配達することと併せて、利用者の安否確認を行います。
- ②利用対象者は、市内に居住するおおよね65歳以上の1人世帯などで、食の自立支援が

両親の離婚等による 面会交流について



平沢 一博
議員



必要と認められた方です。利用者数は、令和4年度は384人となっています。また、1食当たりの単価を税込み935円と設定し、そのうち食材費、調理費として1食当たり400円を自己負担していただいています。③介護認定を受けている方を対象に、本人確認シールを交付してあります。このシールは、二次元コードが印字され、衣服などに貼ることができません。発見者がコードをスマートフォンで読み取ると、専用のアプリケーションで瞬時にご家族と連絡を取ることができます。

離婚された家庭については、子どもが感じてしまう見捨てられ感、自己肯定感の低下を取り払う意味でも、面会交流は子どもが健全に成長するために不可欠なものと考えられており、また、その充実は、養育費不払い問題の解決にもつながると思います。実際に子どもと会えば、「この子には苦労をさせたくない」と思うのが親心です。日本の子ども7人に1人が相対的貧困状態と言われており、その半数がひとり親世帯です。ひとり親世帯の貧困問題解消という観点からも、面会交流の充実を本市としても本気で取り組むべきであると考えますが、面会交流についての本市の見解を伺います。



認知症の高齢者 (イメージ)

○こども未来部長

両親の離婚後においても両親との良好な関係を維持し、親からの教育や愛情を受ける、このような子どもの権利を保護する観点から、面会交流は離婚後の子どもの健やかな成長にとって必要な取り組みであると認識しています。そのため、今年度から実施している、専門の法律相談の活用を十分に図りながら、面会交流や養育費を含めて子どもの最善の利益を考慮した取り決めを行っていただくよう関係機関とも連携を図り、取り決めの重要性について広く周知していきたいと考えています。

内牧公園の駐車場拡張で、 大規模イベントへの対応を



今尾 安徳
議員



○職員の仕事評価について

○新庁舎における什器について

3月19日、内牧公園で開催された内牧わくわくフェスタ2023に、子どもと一緒に参加をしました。当日は午後に向かいましたが、ものすごい人出で、駐車場がいっぱいで車が全く止められないという状況でした。私は、子どもと先に車から降りて公園内に

入り、子どもを遊ばせたのですが、駐車場が本当に足りないということを目の当たりにしました。

私は、内牧公園を農産物の直売で、地産地消を進める拠点にするべきだという提案をしてきましたが、これだけの高いポテンシャルがあるにもかかわらず、車で行ったが実際に駐車を諦めて帰ってしまった人も、かなりいるのではないかと思います。駐車場の増やしていく必要があると思います。市長の考えを伺います。

○市長

内牧公園は、3月のお花見の頃から5月のゴールデンウィーク明けまでの休日は来場者が最も増加する時期で、駐車場が満車となり、利用者の方々にご不便をおかけしている状況は認識をしています。指定管理者によって実施した3月のイベントでは、非常に多くの方々が参加され、大変にぎわったと聞いていますので、駐車場の増設については、今後の利用状況により、必要性を見極めていきます。

このほか

○子どもにとって最善の学童保育を

連続立体交差事業における 高架下空間の活用について



山口 剛一
議員

現在、春日部市の顔ともいえる春日部駅では連続立体交差事業が進められていますが、工事完了後の春日部駅周辺の変化に期待し、特に鉄道高架下空間がどのように活用されるのか、と聞かれることも多いです。

粕壁地区の自治会が所有している、おみこしを集めての「みこしミュージアム」を待望する声や、駅周辺の町内会が独自に所有する町内会館の結集など、さまざまな有効活用が期待される場所ですが、
①現在の高架下空間の検討状況
②高架下空間の鉄道事業者と行政の活用割合
③高架下空間の利活用に対する市の考え方、方向性について伺います。

○鉄道高架担当部長

①高架下空間の利活用の協議は、鉄道高架橋の設計などが終了してからの見込みです。そのため、市では、利活

用のイメージを持ちながら、速やかに協議が進められるよう県と連携し、市民の皆さまのニーズ把握や他市の事例研究など準備を行っていきます。
②割合は、鉄道事業者が85%、行政が15%を利活用できます。
③アイデア募集を行い、多くの貴重なご意見をいただき、これらを県および東武鉄道と共有するとともに、他市の事例を参考に、市民の皆さまと一緒に高架下空間利活用の検討を進めていきます。

このほか

○本市の職場環境・働き方について

動物愛護管理 行政について



阿部 雅一
議員

先般の6月議会で、かつて1万頭を超えていた埼玉県内の犬猫殺処分数が、令和4年度は208頭に至っている現状と「殺処分ゼロ」を目指したさまざまな取り組みについて述べました。特に繁殖力の強い野良猫の問題については、地域住民に直接降りかかって

くることから、各自治体において看過できない問題として取り組みを進めているところ。具体的に、「さくらねこ無料不妊手術事業行政枠」への参加について、その必要性を6月の一般質問で要望したところ、「前向きに検討する」との答弁がありました。その後の進捗を伺います。

○環境経済部長

公益財団法人どうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊手術事業行政枠」への参加については、登録自治体の実績などを踏まえ検討を重ねてきました。その結果として、本事業への参加は、飼い主のいない猫への不妊手術に取り組んでいるボランティアの方の活動や、埼玉県が推進している猫の殺処分数の削減に大きく貢献するものと考え、本年7月に参加を決定したところです。また、8月には、どうぶつ基金の登録手続が完了し、事業の内容や申請方法など、市の公式ホームページにおいて周知しているところです。

このほか

○北春日部駅周辺地区土地区画整理事業について
○春日部市人口10万人記念樹について

第9期介護保険 事業計画策定について



鈴木 一利
議員

「第9期春日部市高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画」が、今年度策定、令和6年度から実施となります。そこで、春日部市第9期介護保険計画策定に当たって、介護事業の中でも、総合事業を、どのように展開をさせていくのか伺います。

また、市内でも通いの場が大きく発展しています。このような通いの場を、第9期計画では、どのように拡充させていくのでしょうか。特別養護老人ホームの入居施設について、本市での地域型特養の誘致について伺います。

○健康保険部長

第9期計画においても、サービスの利用状況や支援を必要とする高齢者の生活状況を把握し、地域包括支援センターなどと情報共有しながら、要支援者や事業対象者の多様なニーズに対応できるように総合事業を展開していきます。



介護保険の説明を聞く高齢者（イメージ）

関係各課と連携しながら通いの場を充実させていくことを位置付け、介護予防のための通いの場の意義を高齢者の皆さまに丁寧に伝え、積極的な参加につなげていきます。
地域密着型特別養護老人ホームの整備を、第9期計画において位置付けることが可能かどうか、計画を策定する中で前向きに検討していきます。

このほか

○ゼロカーボンシティの推進について
○第2期春日部市地域福祉計画・第7期春日部市障害福祉計画の策定について

**意見交換会
(議会報告会)を
開催しました**

市議会では開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しています。

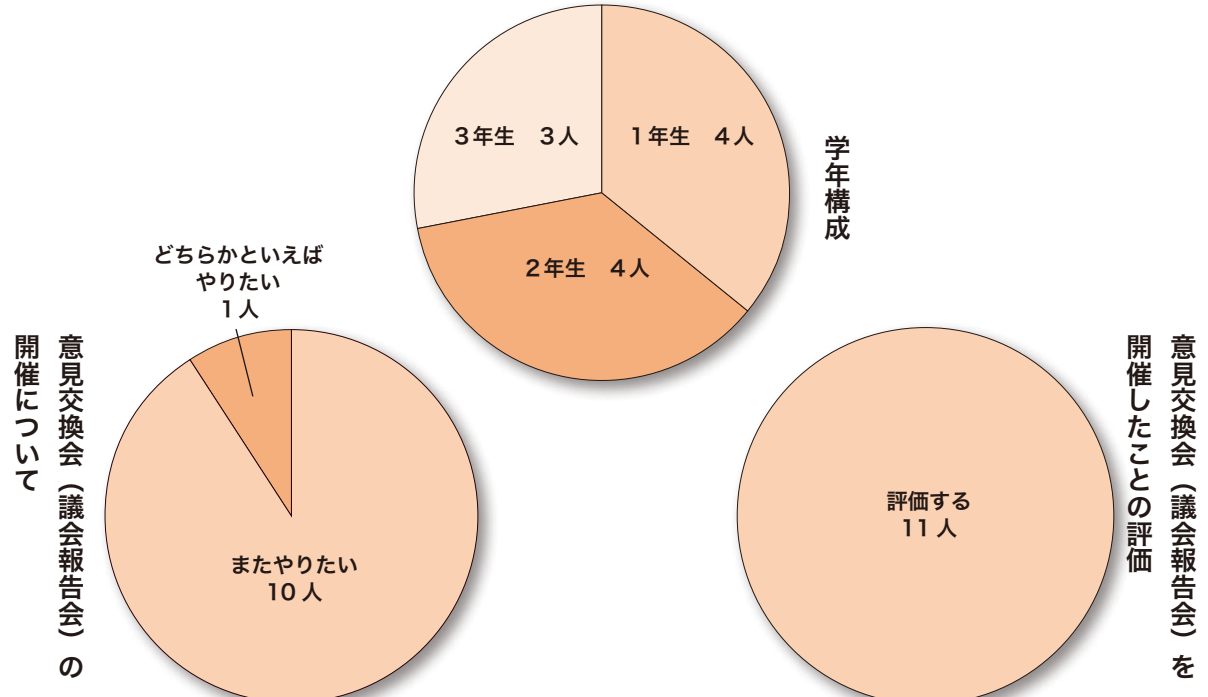
今回は、若い世代にも議会の活動や市の政策を知っていただくための重要な場と考え、8月4日(金)に春日部共栄高等学校で開催しました。前半は市議会の役割などの説明を行い、後半は2つのグループに分かれて、生徒さんからご意見などを伺う意見交換会を行いました。

お忙しい中、ご参加いただきました生徒さん、学校関係者の皆さまには、貴重なご意見やご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。なお、市議会ホームページでは、アンケートの集計結果などを掲載していきますのでご覧ください。

詳しい内容は
こちらから



令和5年度 意見交換会(議会報告会) アンケート集計結果 (一部抜粋)



意見交換会(議会報告会)当日の参加者は、春日部共栄高等学校の生徒会を中心に11名ご参加いただきました。



詳しい内容は
こちらから



中心市街地まちづくり検討特別委員会および地域拠点整備検討特別委員会において協議を行い、令和6年度埼玉県予算に、本市の要望を反映させていただくよう、10月4日に、議長、副議長および中心市街地まちづくり検討特別委員長、地域拠点整備検討特別委員長の4名で県議会へ要望書を提出しました。

**市議会より埼玉県議会へ
要望書を提出しました**

合計	20	15	14	12	8	7	5	4	9 / 1	31	30	29	28	8 / 21	月日	今定例会傍聴状況
86	5	13	17	8	6	19	2	7	0	0	1	2	5	1	傍聴者数	
	討論・採決	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問	常任委員会	常任委員会	特別委員会	質疑	質疑	質疑	質疑	上程・説明	主な日程	

他議会からの視察受入状況（令和4年度）

No.	来庁日	来庁議会	視察内容
1	令和4年 5月18日	埼玉県久喜市議会	春日部みどりのPARKについて
2	令和4年 7月20日	愛知県安城市議会	春日部市シティセールスについて
3	令和4年10月 6日	宮城県石巻市議会	春日部市污泥再生処理センター「かんきょうゆめランド」について
4	令和5年 1月12日	宮城県東松島市議会	かすかべ未来研究所について
5	令和5年 1月20日	埼玉県久喜市議会	EVモビリティ導入について
6	令和5年 2月 7日	愛知県西尾市議会	春日部市議会議員定数適正化について

閉会中の委員会活動

- ▽議会運営委員会
8月16日
・令和5年9月定例会の運営について
- ▽議会改革検討特別委員会
7月10日
・議会報告会について
・議会中継における字幕付与について
- ・議案質疑の際の登壇について
- 8月1日
・議会報告会について
・議会中継における字幕付与について
- ・議案質疑の際の登壇について
- ・デジタル化とペーパーレス化について
- ▽新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
8月9日
・令和5年9月定例会の対応内容について
- ▽中心市街地まちづくり検討特別委員会
9月20日
・県議会への要望活動について

▽地域拠点整備検討特別委員会
9月20日

- ・県議会への要望活動について
- ▽広報広聴委員会
9月28日
・議会だより第73号について
10月4日
・議会だより第73号について
- ▽図書室運営委員会
10月4日
・図書購入の申し込みについて

編集後記

追々寒さに向かいますが、皆さまにおかれましては、変わりなくお過ごしでしょうか。最近では自然災害による被害が多く、自然環境の変化が大きく報じられ、日頃からの防災意識を高めることがとても大切だと感じています。さて、今回の議会だよりでは、8月に春日部共栄高等学校にて開催しました、春日部市議会初となる、高校生を対象とした意見交換会（議会報告会）の取り組みを掲載しました。若い世代に議会への関心を高めてもらい、また、若い世

代の声を市政に取り入れていくために、高校生の皆さんが日頃、市政に感じている意見や、これからの春日部市に望むことを聞かせていただきました。

さらに、各議員の一般質問では、個人の特徴、傾向も表れますから、その角度から見ると新たな発見があるかもしれません。

市民の皆さまに親しまれ、読んでもらえる「議会だより」の紙面作りに、これからもより一層努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

広報広聴委員会

- 委員長 山口 剛一
- 副委員長 木下三枝子
- 委員 会田 吉幸
- 委員 平沢 一博
- 委員 阿部 雅一
- 委員 奥沢 裕介
- 委員 中村 貴彰
- 委員 大里 昇
- オブザーバー 荒木 洋美
- 議長 吉田 稔
- 副議長 吉田 稔

〒344-8577
埼玉県春日部市中央六丁目2番地
春日部市議会

Tel 048-736-1111（代表）
内線3116

